

2026年2月19日(木)

報道関係者各位



<https://www.hakubaku.co.jp/>

【即ご掲載可能】豊富な宣材画像をご用意しております / 【取材申込受付中】社長への取材可能！

麦茶作りに「失敗しない」新常識を。 “入れっぱなし”の不満を解消した『苦くなりにくい麦茶』が新発売

2026年3月2日(月)より全国で発売開始



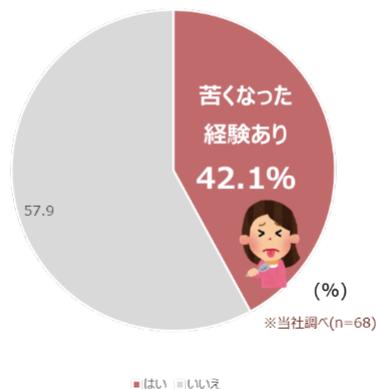
『主食改革』を提唱する穀物のリーディングカンパニー株式会社はくばく（本社：山梨県中央市、代表取締役社長：長澤 重俊）は麦茶ユーザーの多くの悩みである「ティーバッグの取り出し忘れによる苦味」を解消する新商品「苦くなりにくい麦茶」を2026年3月2日(月)より全国で新発売します。

当社の調査では、麦茶ユーザーの約4割がティーバッグを一晩以上入れっぱなしにしている実態が明らかになりました。また、それに伴い4割以上の方が「麦茶が苦くなった」経験を抱えており、忙しい家事の合間に抽出時間を管理し、適切なタイミングでティーバッグを取り出すことは、多くのユーザーの心理的な手間やストレスになっていることが浮き彫りになりました。そこで、当社は長時間入れておいても苦みが出にくい焙煎方法とブレンドを採用。抽出時間を気にせず、いつでもスッキリとした美味しさを楽しめる、麦茶作りの“新常識”を提案いたします。

■水出でて麦茶を作る際の抽出時間



■長時間ティーバッグを入れっぱなしにして、麦茶が苦くなった経験はあるか(30~40代女性)



本件に関する問い合わせ先

株式会社はくばく 広報担当：手塚 俊彦 携帯：080-1005-2988 E-mail：pr@hakubaku.co.jp

Point①：ティーバッグを入れたままでも苦くなりにくい ※一晩=8時間と想定
焙煎の調整ができる熱風焙煎を採用することにより、大麦本来の甘みを際立たせた味わいを実現。
一晩ティーバッグを入れたままでも苦くなりやすく、更に味に深みがでできます。苦くなりにくいため、ティーバッグを時間管理して取り出す手間もありません。

Point②：家族みんなが飲みやすい味わい
浅煎りをベースとしつつ深煎りもブレンドすることにより、すっきりしながらも甘みや香りが豊かな味わいに仕上がっております。小さなお子様から大人までみんなで楽しめます。

Point③：1Lあたり約7.3円！たっぷり使えるお徳用 ※希望小売税込価格に基づき算出
子育て世代の高頻度・多量消費ニーズに応え、日常使いしやすい52袋入り。水出し抽出の場合、1Lあたり約7.3円というコストパフォーマンスを実現しました。徳用サイズ商品でありながら、苦みのない味わいと、「ティーバッグを取り出す手間」というストレスを解消する付加価値商品です。

◎商品の概要

発売日：2026年3月2日
発売地域：全国



【商品仕様】

商品名：「苦くなりにくい麦茶」
特長：一晩ティーバッグを入れたままでも苦くなりやすく、ティーバッグを取り出す手間と麦茶が苦くなってしまいう麦茶作りの悩みを解消する商品。
容量：416g(52袋)
価格：378円(税込)
賞味期限：540日



◎「苦くなりにくい麦茶」商品開発担当者のコメント



この度、新商品「苦くなりにくい麦茶」を発売することになりました。麦茶を作る際に、「ティーバッグを取り出すのが面倒だが、入れっぱなしにすると苦くなったり濃くなったりしてしまう」といったお悩みを感じている方にお応えすべく開発がスタートしました。本商品は、すっきりとした飲み口でありながら、大麦本来の甘みと香りをしっかりと感じられる味わいが特徴です。実際に味覚分析を行ったところ、8時間抽出でも苦味に変化はなく、むしろ甘みが増す傾向があることがわかりました。ティーバッグを取り出す手間を省けるだけでなく、入れっぱなしによる味の変化を気にせずお使いいただける商品となっております。また、パッケージデザインについては、「夜寝る前にティーバッグを入れるだけで、取り出す手間なく翌朝には麦茶ができていく」というコンセプトを表現するため、朝焼けをイメージしたグラデーションカラーにしています。本商品が多くの方の皆さまの毎日に、手軽でおいしい麦茶のひとつをお届けできる存在となりましたら幸いです。

■はくばくについて



社名 : 株式会社はくばく
所在地 : 〒409-3843
山梨県中央市西花輪 4629
代表 : 代表取締役社長 長澤 重俊
設立 : 昭和 16 年 4 月 15 日
資本金 : 98,000,000 円
事業内容 : 食品製造および販売
URL : <https://www.hakubaku.co.jp/>

The Kokumotsu Company として

当社の社名「はくばく」は白い大麦という意味です。創業社長である祖父が「もっと麦ご飯を喜んで食べてもらいたい。」という思いから、大麦を一粒一粒半分に割って黒い筋を目立たなくした製品を開発しました。

以来、我々はくばくは穀物とともに歩み、精麦の他、雑穀、和麺、麦茶、穀粉、米を事業として手がけるようになりました。

人類を太古から支えてきた大切な「穀物」を、現代の食卓へもっと多く登場させ、もっと楽しんで食べてもらうこと。それは家族の笑顔が増えること。またそれは家族が健康になることだと考えています。これを実現するために、我々はくばくは主食であるごはんの「質」を見直す「主食改革」を、社員一丸となって本気で目指して参ります。

株式会社はくばく
代表取締役社長 長澤 重俊

本件に関する問い合わせ先

株式会社はくばく 広報担当 : 手塚 俊彦 携帯 : 080-1005-2988 E-mail : pr@hakubaku.co.jp